

平成 20 年 11 月 4 日

各 位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 林 毅俊
電話番号 03-5730-2480

**血管再狭窄予防用『薬剤溶出型バルーンカテーテル』の3社共同研究開発
動物試験で有効性を確認 –『第 11 回日本栓子検出と治療学会』において発表–**

アンジェス MG 株式会社(以下、アンジェス)は、平成 19 年 11 月 15 日公表資料の通り、メディキット株式会社(以下、メディキット)およびホソカワミクロン株式会社の研究開発子会社である株式会社ホソカワ粉体技術研究所(以下、ホソカワ)と、血管再狭窄予防を目的とした『薬剤溶出型 PTA バルーンカテーテル(NF- κ B デコイオリゴコーティング)』に関する共同研究開発を進めておりますが、この度、動物試験においてその有効性を確認できましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、NEDO 技術開発機構(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の平成 19 年度【健康安心プログラム】に係る「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／橋渡し促進技術開発」委託事業の助成対象として採択されたプロジェクトの成果です。なお、本件評価は、アンジェスが動物試験を再委託しています国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科にて実施されたものです。

<動物試験結果の概要>

アンジェスが開発を進めております NF- κ B デコイオリゴをホソカワの 200 ナノメートルの生体適合性高分子 PLGA ナノ粒子に封入し、メディキットが薬剤塗布した PTA バルーンカテーテルを用いて、ウサギを使った再狭窄モデルへ投与致しました。

その結果、病変部位への薬剤の導入効率は良好で、内膜傷害後に形成される狭窄病変に対する効果は、NF- κ B デコイオリゴを含有していない PTA バルーンカテーテルと比較したところ、統計学的に有意に再狭窄を抑制いたしました。

なお、この結果は、平成 20 年 10 月 31 日に開催されました「第 11 回日本栓子検出と治療学会」において、大阪大学から発表されました。この発表において大阪大学大学院医学系研究科の森下竜一客員教授は、「今回の結果は、デコイ溶出カテーテルの有効性を示したものであり、世界で初めての薬剤溶出型カテーテルの実用化に大きく前進しました。」と述べています。

本結果より、本共同研究開発グループ3社では、今後、臨床試験実施に必要な非臨床試験を早期に実施し、実用化を急ぎたいと考えております。

〈ご参考〉

－会社概要－

社名： **メディキット株式会社** / **東郷メディキット株式会社***
本社： 東京都文京区湯島1丁目13番2号
代表者： 代表取締役社長 中島 弘明
設立： 1973年6月
資本金： 1,241百万円(2008年3月末現在)
従業員： 150名(2008年3月末現在)
連結売上高： 11,926百万円(2008年3月期)
事業内容： 医療機器の開発・製造・販売・輸出
*東郷メディキット(株)は、メディキット(株)の100%子会社であります。

社名： **株式会社ホソカワ粉体技術研究所**
本社： 大阪府枚方市招提田近1丁目9番地
代表者： 会長 細川 益男、社長 向阪 保雄
設立： 2002年10月(創設:1958年9月)
資本金： 491百万円
従業員： 39名(2008年3月現在)
事業内容： ナノパーティクル・テクノロジーを核とした独自の粒子設計・加工技術
*受託研究開発、受託加工、ナノ複合粒子等の材料・製品販売、
高機能化粧品・育毛剤の製造販売
大株主(持株比率)： ホソカワミクロン株式会社(100%)
連結売上高： 50,510百万円(2007年9月期)

社名： **アンジェス MG 株式会社**
本社： 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目7番15号
代表者： 代表取締役社長 山田 英
設立： 1999年12月
資本金： 9,439百万円(2007年12月末現在)
従業員： 79名(2007年12月末現在)
連結売上高： 1,720百万円(2007年12月期)
事業内容： 遺伝子医薬品の研究開発

以上